

2026年6月5日

各 位

会 社 名 株式会社アプライズ
(コード番号 134A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 岩堀 克英
問合せ先 取締役管理部長 行方 亜美
T E L 03-6388-0835
U R L <http://upraise.pw/>

TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

株式会社東京証券取引所が2026年4月3日付で公表した「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」に基づき、当社のTOKYO PRO Market への上場目的及びその実現状況について、下記のとおりお知らせいたします。

1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は、2024年2月20日付で株式会社東京証券取引所が運営するTOKYO PRO Market に上場いたしました。当社は、「努力をするまじめな外国人」が日本企業に就労できるようにサポートしております。それにより、日本企業も少子高齢化に対応できるような人材採用の仕組みを享受できるようになる上、さらに、日本企業がベトナム等ASEANに進出する機会を提供できるようになることを使命とし、上場を通じて以下の目的の実現を目指しております。

(1) 知名度・信頼性の向上

人材市場には多数の事業者が存在しており、サービス内容のみによる差別化が容易ではない市場環境にあります。当社は、株式会社東京証券取引所が運営する公的な株式市場である TOKYO PRO Market への上場を通じて、客観的に評価された上場企業としての社会的信用を獲得し、当社の知名度及び信頼性の向上を図ってまいります。

(2) 顧客領域の拡大

当社の顧客基盤は中小企業を中心として構成されておりますが、上場により獲得する社会的信用を活用することで、上場企業、大学・専門学校等の教育機関などこれまでアプローチが容易ではなかった顧客層への営業領域の拡大を目指してまいります。これにより、特定の業界・顧客層への依存リスクを低減するとともに、安定的かつ持続的な事業成長を実現してまいります。

(3) 優秀な人材の確保

当社の事業成長を支える基盤の大半は、日本に居住する外国人材であります。上場企業としての社会的信用を背景とした採用力の向上を通じ、優秀な人材の継続的な確保及び定着を実現し、提供サービスの品質向上と事業領域の拡大を支える組織体制の強化を図ってまいります。

2. 上場目的の実現状況

上場後、当社は上記の上場目的の実現に向けて以下の取組みを進めており、現時点における実現状況は次のとおりです。

(1) 知名度・信頼性の向上

上場以降、適時開示の遅滞なき実施、決算短信及び発行者情報の期日内開示等、上場企業としての情報開示体制を着実に運用しております。

今後も、適時かつ適切な情報開示及び IR 体制の継続的な強化を通じて、当社の知名度及び信頼性の更なる向上に取り組んでまいります。

(2) 顧客領域の拡大

上場後、大企業や上場企業との取引が成立し続けております。引き続き、上場企業、大学・専門学校等の教育機関などへの営業活動を強化し、2030年12月期頃を目途に売上高20億円規模を目指して、顧客基盤の更なる拡大に取り組んでまいります。主な売上高の増加目標としては、次のとおりです。

- ・ 特定技能登録支援サービス事業拡大のため、物流倉庫分野への現在派遣対象であるアルバイト(留学生)に加え、技能実習生の就労も新たに開始する 約3億円増加
- ・ 新AI活用による外国人採用支援事業開始 約1億円増加
- ・ システムリース/フランチャイズサービス 約3億円増加
- ・ 既存事業の拡大 約5億円増加

(3) 優秀な人材の確保

上場後、新卒採用を中心に継続的に人員の拡充が進捗しております。2025年12月末時点における当社の従業員数は14名であり、本開示時点までに新たに4名が入社しております。上場企業としてのブランドが採用市場における当社の認知向上及び応募者層の拡大に寄与しているものと認識しており、引き続き、中長期で組織規模を拡大し、サービス品質の向上と事業領域の更なる拡大を実現してまいります。

3. 今後の取組み

当社は、上記の上場目的の実現に向けた取組みを継続するとともに、上場企業としてのコーポレート・ガバナンス及び内部管理体制の更なる強化、適時かつ適切な情報開示及び IR 体制の充実、並びに経営基盤の継続的な強化に取り組んでまいります。上場目的の実現状況については、次回以降、毎年1回以上、定期的に評価し開示してまいります。

以上